

裁判員制度を考える 講演会

「市民参加」とはいったい何か。制度推進の立場に立つ勢力が共通して言う「市民の司法参加こそ民主主義の証」論をこの国と世界の歴史を踏まえて解剖し、検証したい。そのことは、「国家」や「公共」や「司法」を考える私たちの判断と行動の座標軸を確実に明らかにするだろう。

日時 2010年10月20日（水）18:00-20:00

会場 東京・弁護士会館10階 二弁講堂

●東京メトロ:日比谷線 丸ノ内線 千代田線 霞ヶ関駅 B1 出口



講師 池田浩士さん

ファシズムは 市民参加で!

—ボランティアから裁判員まで

プロフィール

1940年 大津市生まれ
京都大学名誉教授
現 京都精華大学教授
専攻・ドイツ文学

主な著作

「ファシズムと文学—ヒトラーを支えた作家たち」
「死刑の〔昭和〕史」
「火野葦平論—〔海外進出文学〕論・第1部」
「虚構のナチズム」

●発言

「裁判員制度はいらない! 大運動」
のみなさん ほか

●ビデオメッセージ

高橋伴明さん

映画監督

(最新作「BOX 袴田事件 命とは」)



●2010.7.3 裁判員制度にとどめを! 全国一斉行動in仙台
集会後の市内デモには「裁判員いらないインコ」も参加。
制度廃止の訴えは、市民の大きな注目を集めました。

主催：憲法と人権の日弁連をめざす会

連絡先：東京都港区虎ノ門1-1-11 マスダビル4F TEL：03-5157-5488 FAX：03-5157-5489